



こんにちは日本共産党です

八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第442号

2020年2月10日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

東葉高速線、遠のく運賃値下げ

2020年1月21日、国、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、東京地下鉄株式会社、東葉高速鉄道株式会社、沿線自治体であり主要株主でもある千葉県、船橋市、そして八千代市で構成される東葉高速自立支援委員会が開催されました。

自立支援委員会での決定事項は、昨年度と同じく2020年度にも20億円の繰上償還を実施、東葉高速鉄道の純利益である約25億円の大部分は、運賃引き下げへ回されることなく、繰上返済に使われることになりました。

純利益は利用者と市民の負担によるもの

東葉高速鉄道の利益は、借換債が低金利で調達できる一方、日本一高い運賃を支払い続けている利用者と市民の負担によるものではないでしょうか？

2019年1月30日、沿線自治体である千葉県、船橋市、八千代市から国土交通省に対して要望を行っています。その内容は、以前から日本共産党がうたえていたように、後から建設されたつくばエクスプレスのように90%以上を無利子の貸し付けで建設されることをあげて、抜本的な支援を国へ求めています。

しかし、この要望に対する国からの返答を待たずに、金利上昇リスクを理由として繰上返済が決定されてしまいました。

埼玉高速鉄道では通学定期の大幅値下げで利用者増へ

埼玉スタジアム線こと、埼玉高速鉄道では、2018年春に「新たな子育て世代を沿線地域に誘導して、沿線地域の開発を促進し、今後の人口減少・超高齢社会における経営自立化を確実なものとする」という前向きな戦略で、通学定期券の大幅値下げを実施しました。その結果、この1年で定期利用者を含む輸送人員が大きく増えているのです。



子育てしやすい八千代市へ運賃値下げを実施すべき

日本共産党市議団が2月5日、行政視察で訪れた滋賀県守山市は、電車で京都まで25分、大阪まで55分という八千代市と同じような大都市のベッドタウンです。ここでは、誰もが暮らしやすい街づくりを進めた結果、学校を中心に子育て世代が集まり、合計特殊出生率は、1.63となっていました。結果として中心市街地の活性化が進みました。

日本共産党では、高すぎる東葉高速線の運賃値下げを進めることで、もっと暮らしやすく、誰もが住みたくなる八千代市をめざします。